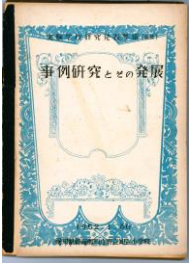




# 主題研究の歴史

## (愛知県認定) 昭和23~26年度「実験学校 事例研究とその発展」



戦後わずか3年。知立小学校の現職教育は、ここから始まったと言ってもよい。「新教育をやり抜く学校」実験学校として、4年間の実践を積み重ねた。当時の後藤善平学校長は、発表会要項にこう記している。「新教育は、社会性と個性とに立脚した教育である」「昔の教育の方がよかった」と言う意見をもつ人が相当ある。まだ根強く残っている封建思想のあこがれであって、教育の進展は約束されない」「画一的強要の授業形態から解放せんとして、協議学習法（ディスカッションメソッド）または討論法（ディベート）を採用し、児童会の活動を活発にした」「ケーススタディの研究実施によって、忘れられた子供が一人もないように心がけてきた」「カリキュラム改造運動こそ新教育研究の花形である。」今日の教育の原点とも言える。



昭和46年度

主体的な読解学習を育てる指導過程

昭和46年 学習指導要領改訂

昭和47~50年度

自主性・社会性をのばす学級づくり

6年間の総授業数 5821コマ

昭和51~54年度

生きる力を育てる社会科学習

4科総授業数 3941コマ

## (市教委研究委嘱) 昭和52・53年度 「生きる力を育てる社会科学習」



研究員		
校長 藤原 善平	教員 大田 寛吉	教員 山田 修子
教員 池田 洋二	教員 栗原 浩二	教員 岡田 正徳
教員 岡田 正徳	教員 長瀬 千代	教員 藤田 啓子
教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子
教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子
教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子
教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子
教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子
教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子	教員 藤田 啓子



昭和55年度

「豊かな人間性を育てるゆとりの時間のあり方を求めて」

昭和56~60年度

「ひとりひとりを大切にする授業」

昭和61年度

「子どもの考えを生かした魅力ある授業」

昭和62~平成3年度

「地域に根ざした、活力ある子どもの育成」

## (市教委研究委嘱) 昭和62・63年度 「地域に根ざした活力ある子どもの育成」

一社会科を中心に、道徳による支援と特活への発展を求めて一



平成4年 学習指導要領改訂  
生活科の新設、道徳教育の充実、  
心豊かな人間の育成

6年間の総授業数 5785コマ

4科総授業数 3659コマ

平成4~15年度

「豊かな感性を持ち思いやりのある子の育成」

## (文部科学省指定・市教委研究委嘱) 平成12・13年度 人権教育研究発表会 「豊かな感性を持ち、思いやる子の育成」

一人・自然・地域とのかかわりを大切に、ともに創る「ちりふ」学習を軸にして一



平成14年 学習指導要領改訂  
総合的な学習の時間新設

基礎・基本、「生きる力」の育成

6年間の総授業数 5367コマ

4科総授業数 3148コマ

平成16~20年度

「ともに生きる」

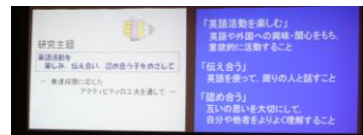
平成21~24年度

英語活動を楽しみ、伝え合い、認め合う子をめざして

## (市教委研究委嘱) 平成21・22年度 「英語活動を楽しみ、伝え合い、認め合う子をめざして

一発達段階に応じたアクティビティの工夫を通して一

アクティビティを通して外国語になれ、コミュニケーション能力を高めることを目標にしました。



平成23年 学習指導要領改訂

脱ゆとり教育

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成

6年間の総授業数 5645コマ

4科総授業数 3242コマ

平成25~26年度

伝え合い、学び合い、認め合う子をめざして 一英語活動、理科、生活科の学習を中心として一